

としまPゼミ通信



2024.10.10

豊島区教育委員会事務局教育部庶務課発行

今年度の年間講師も

立教大学教授

かく やんちゅん

郭 洋春

先生 です！

今年度のテーマは

みんなで広げよう

SDGsの「わ」

としまPゼミ通信は、毎回の活動をまとめ、学びのふりかえりに役立てていただくことを目的に発行しているものです。さっそく第1回月例会の活動を紹介します！

第1回

オリエンテーション 誰にでもできる SDGs

昨年度「としまPゼミ」に参加して下さった豊成小の佐藤さん、南池袋小の笹島さん、戸張さん、さくら小の飯山さんにご参加いただき、代表して佐藤さんに昨年の様子をご報告いただきました。「参加してよかったことは、大人になって勉強する楽しさに気づいたこと。特に郭先生の授業はとても楽しかった。またPゼミの活動は、他のPTA活動とは少し違い、他校の保護者とも交流ができ、事務局のサポートも受けながら活動し、とてもためになった。」とのうれしいお言葉をいただきました！先輩の4名様には、各班1名ずつグループワークに参加していただきました。素晴らしいコミュニケーション能力を発揮くださり、Pゼミの皆さんの緊張が一気に解けてアットホームな雰囲気になりましたね。

まずはアイスブレイクもかねて、班名を決めました。どの班も地域性を生かしたステキな名前ですね！

★全7回の活動どうぞよろしくお願いします★

1班【仰高小・巣鴨小・朝日小】 2クラス(ふたくらす)

2班【清和小・西巣鴨小・池袋第一小】 白山通り

3班【朋有小・南池袋小】 ご近所

4班【高南小・目白小・富士見台小】 目白ボロネーゼ

5班【長崎小・要小・さくら小】 さかな



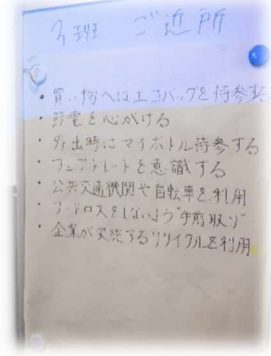
「SDGs」聞いたことはあるけど…？

「SDGsってなに？」という基本からのスタートです。郭先生は、「SDGsの考え方を一言でいうと、**誰一人取り残さない**ということ。みんなが取り残されず、すべての人に持続可能な豊かさの恩恵があるようにしよう。**100%を目指すのが SDGs の考え方**。そのため**5つのP**が必要です！」とお話してくださいました。

5つのPはPeople(人間)、Planet(地球)、Prosperity(豊かさ)、Peace(平和)、Partnership(パートナーシップ)。郭先生からは、「これらはPゼミそのもの。」との嬉しい言葉も。SDGsの理念を実践するPゼミの学びに期待しています！

グループワーク！ 皆さんが生活している中で、「これって SDGs？」と思うものを出してみよう！

短い時間にも関わらず、多くの意見がでました。「グリーンカーテン」「シェアバッテリー」「PTA活動」「ヘアドネーション」「としま涼みどころ」「洋服・おもちゃリサイクル」など、すべてが SDGsに繋がっていました。国や企業が進めるイメージもある SDGsですが、実際は私たち一人ひとりができることに気づきました。



ここでSDGsクイズ！力を合わせて世界をよりよく変えていくために、まず現状を考えるクイズをしました。

- ①世界には学校に通うことができない子どもがどのくらいいるでしょう？
- ②世界では1日200円以下で生活している人がどのくらいいるでしょう？ ☆答えは下方に！
- ③食べられるのに捨てられている食品は、日本では東京ドームいくつ分の量でしょうか？

Pゼミで学んでほしいことは？

豊島区はSDGs未来都市と自治体SDGsモデル事業にダブル選定されています。2つ選定されているところはそれほど多くありません。豊島区は積極的にSDGsに取り組んでいる区です。配付資料の図の中には、Pゼミの皆さんも「区民」として入っています！特に、この中でFF(女性・ファミリーにやさしい)パートナーシップ協定は皆さんにも関連が深いですね。この図のように、いろいろな機関が連携して事業が回っていけば、オールとしまでのSDGs未来都市やモデル事業に繋がっていき、よりよい住み続けたい街になっていくことでしょう。

国連では「持続可能な社会のためにナマケモノにもできるアクション・ガイド(改訂版)」の中で、やりたくない人でもできる、目標は大きいができることは身近にあるという具体的な例を紹介しています。

郭先生からは、「としまPゼミの皆さんが働きかけ、家庭・学校・地域にSDGsを意識してもらう。発信することで、仲間を増やしてSDGsの「わ」を広げてもらうきっかけとなる。このようにPゼミの力が発揮できれば、区民の意識が変わり、行動も生まれる。その行動によって区の目標が達成され、また新たな課題が設定されて、Pゼミの皆さんが取り組む、そうした好循環が生まれる。**としまPゼミ発の豊島区活性化モデル**ができるのです！SDGsは、行政がやることで個人は関係ないと思われがちですが、皆さん一人ひとりが行動することが、豊島区を動かすことになるのです！豊島区に住んでよかった。豊島区で働けてうれしい。そんなまちをつくりましょう。」との力強いまとめがありました。

○○○みなさんからの感想を一部ご紹介します○○○

*原文ママ

今回学習した内容で、印象に残ったこと

- SDGsは敷居が高いものではなく、誰でも簡単に始められるということ。
- 豊島区がSDGsの取組が盛んな自治体だということ。
- SDGsの活動について、自分自身が知っているようで意外と知らなかったのに気づいたこと。
- 身近にできるSDGsの内容がとても多かったこと。
- 今の自分の生活が当たり前ではないこと。

これから実行しようと決めたこと

- 身の回りのSDGsについて、子供達ともう少し意識して話してみようと思った。
- 節電・節水・フードロスの削減に取り組む。
- 普段の意識の中にSDGsを据えること。
- 日々のちょっとしたエコ活動。
- 今まで「どちらが節約になるか、どちらが楽か？」でしか考えていなかったことを「環境にとってよいのはどちらか？」という視点で考えるようにする。

ご活用ください★Pゼミセットのご紹介



Pゼミセットには、グループ活動に必要な道具が入っています。
①名札 ②サインペン(ふせんにはこれで書いてもらえると見やすいです)③ふせん ④はさみ ⑤のり ⑥白紙(メモ用紙などにごようぞ！)
足りなくなったものがあつたら事務局へお知らせください！

SDGsクイズ 解答 ①5人に1人 紛争や女子だからという理由も ②10人に1人 貧困は7億人 ③5つ分

今年度の学習発表会は、12月8日(日)
IKE-SUN PARKにて開催します。
担当は大和田・宮本・岡田です。よろしくお願いします！